

NetSSTG1 リリースノート Ver.2.1.11

2016年12月

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】 Net SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】 Net SST G1 日本語版

【著作権者】 株式会社カンバス

【動作環境】 Microsoft Windows 7/8/8.1/10/日本語版・英語版

【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。

2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

1) 機能追加

- 再生モードの機能切替
- 再生モードの機能
- ファイル指定先フォルダの記憶
- ユーザー設定-多言語フォントの表示に対応
- 最終チェック
- ABトラックの入替機能
- 映像とタイムコードの同期、画面調整

2) 仕様変更

3) 機能修正

4) アップデータのダウンロード

1) 機能追加

●再生モードの機能切替

－新再生モードにおいて、従来の機能（倍速再生モード）と今回の機能（倍速再生音声認識モード）を[設定]メニューの「再生速度 x2.0 で音声の高さを維持」で切り替えられるようになりました。

●再生モードの機能

－本バージョンより、新再生モードにおいて、倍速再生時に音声認識できるようになりました。

－従来は倍速再生もしくはスロー再生にてキーを長押ししていなければなりませんでした。本バージョンより、どちらのモードでも、**↑もしくは↓キーを押しっぱなしにする必要はなくなりました。**

- 再生方法は従来通りスペース、F11、F12、→キー長押しです。
- 再生中に↑キーを一回押すと倍速音声再生に、再度↑を押すと元の再生速度に戻ります。
- 再生中に↓キーを一回押すと1/2スロー音声再生に、再度↓を押すと元の再生速度に戻ります。
- 一度再生を停止すると、元の速度に戻ります。
- →キーの長押し再生の際は、→キーを押している最中に↑または↓を押すと再生速度が変わり、再度↑または↓を押すと元の再生速度に戻ります。
- 従来の早送り（↑+→の同時押し）を使用する場合、先に↑を押しても早送りにならないので、先に→を押してから↑を押してください。従来のスロー再生（↓+→の同時押し）についても同様です。
- WMV ファイルは倍速再生・スロー再生はできません。（SSTG1 モード時）
- 巻き戻しの倍速再生・スロー再生は、以前のバージョンと同様に動作保証対象外です。

●ファイル指定先フォルダの記憶

－ファイルの保存先や出力先フォルダ指定画面にて、**前回指定したフォルダを記憶するようになり**ました。

ファイルの保存画面やインポート・エクスポート画面など、フォルダを指定する画面において、前回指定したフォルダが記憶され、次回開いた際にあらかじめ指定されるようになりました。これまでは、すべての機能で共通して記憶されておりましたが、本バージョンから機能ごとに独立して記憶されます。

例) sdb ファイルを開いた後、映像ファイルを開く場合

これまでのバージョン：開かれるフォルダが、sdb ファイルを開いたフォルダになる

本バージョン：開かれるフォルダが、前回映像ファイルを開いたフォルダになる

●ユーザー設定

ー多言語フォントの表示に対応しました。

一部の多言語フォント（ベトナム語、ラオス語、ミャンマー語）が、SSTG1 上で正しく表示されていなかった問題について、正しく表示されるように対応しました。

※多言語フォントを使用しないとき（日本語や英語フォントなどを使用するとき）は全てのチェックを必ず外してください。チェックが入っていると、斜体などのフォーマットが正しく表示できません。

※Unicode 対応のフォントにて検証を行っております。フォントによっては正しく表示されない場合がございます。

※ミャンマー語のフォントは、独自コードで作成されており Unicode 対応していないフォントが多いため、正しく表示されない場合がございます。独自コードで作成された字幕は、そのコードに対応したフォントを設定してください。

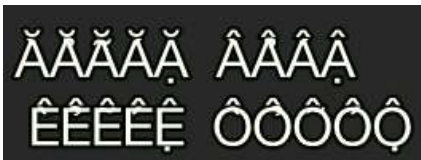
※Windows OS が正式サポートしていない言語は正しく表示されない場合がございます。（例：Windows7 ではミャンマー語のサポートがされておられません）

[設定]－[ユーザー設定]－[言語]タブから設定が行えます。

■ベトナム語

従来の表示

本バージョンより



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

- 下部が欠けるフォントを調整する
（例／一部の欧文フォントなど）
- リガチャ（合字）の調整
 - 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
（例／ラオ語など）
または
リガチャ（合字）の下部が欠けるフォントを調整する
（例／ミャンマー語など）
 - 文字のパーツ（アクセント記号等）の表示位置のズレを修正する
（例／ベトナム語 など）

■ラオス語

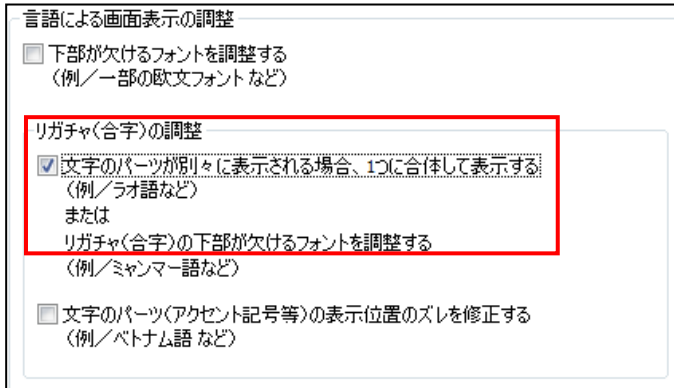
従来の表示



本バージョンより



ユーザー設定



■ミャンマー語

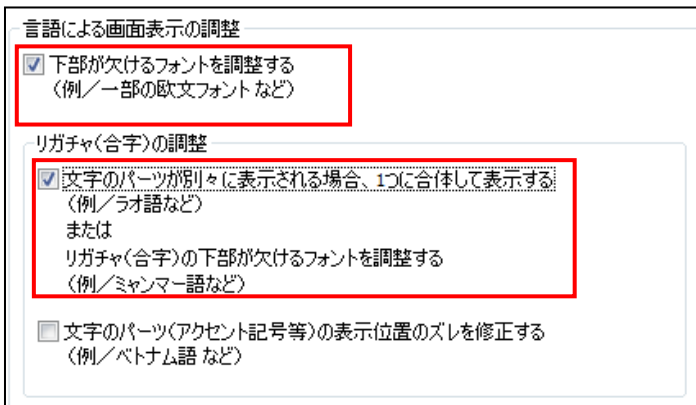
従来の表示



本バージョンより

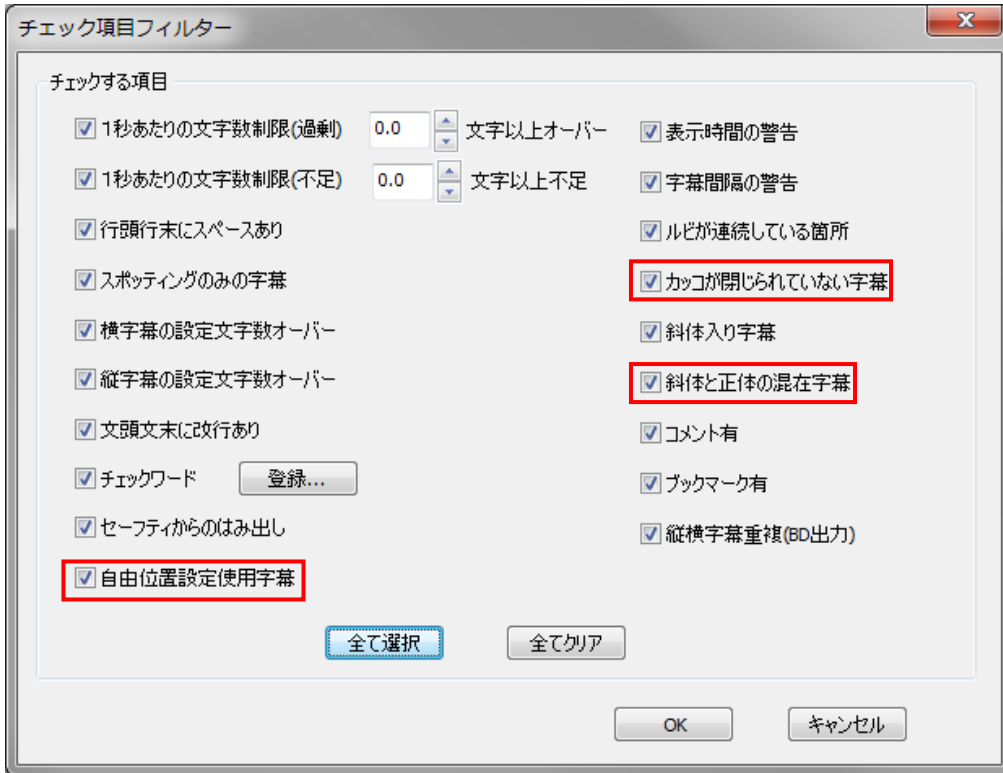


ユーザー設定



●最終チェック

ー最終チェックの項目を追加しました。



(★は字幕 BOX にエフェクトあり)

チェックする項目	チェック内容	備考
自由位置設定使用字幕	自由位置が設定されている。	
カッコが閉じられていない字幕	「」や [] などのカッコが閉じられていない。	※1
斜体と正体の混在字幕 (★)	一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。	※2

※1：対象のカッコの組み合わせは下記の通りです。全角と半角は区別されます。

“” (全角・半角)

[] (全角・半角)

「」 (全角・半角)

《》 (全角)

『』 (全角)

() (全角・半角)

<> (全角・半角)

※2：チェックには検出されませんが、現状エフェクトはすべて斜体の字幕にもつきます。

ーチェック時に保存したか確認のメッセージが出るようになりました。

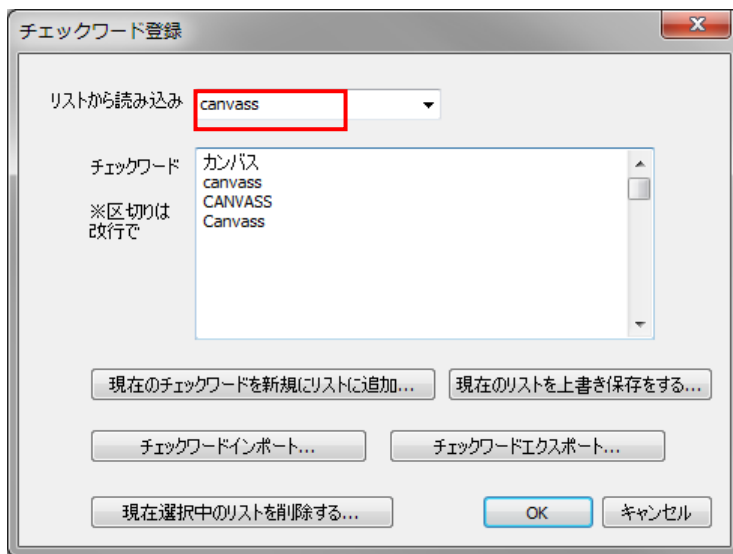
最終チェック画面を開き[Check]をクリックすると、「sdb を保存しましたか？」とメッセージが出るようになりました。

これにより、従来は[チェック]メニューから[最終チェック]を選択した直後に自動的にチェックが実行されていましたが、[Check]をクリックしてからチェックを実行するようになりました。

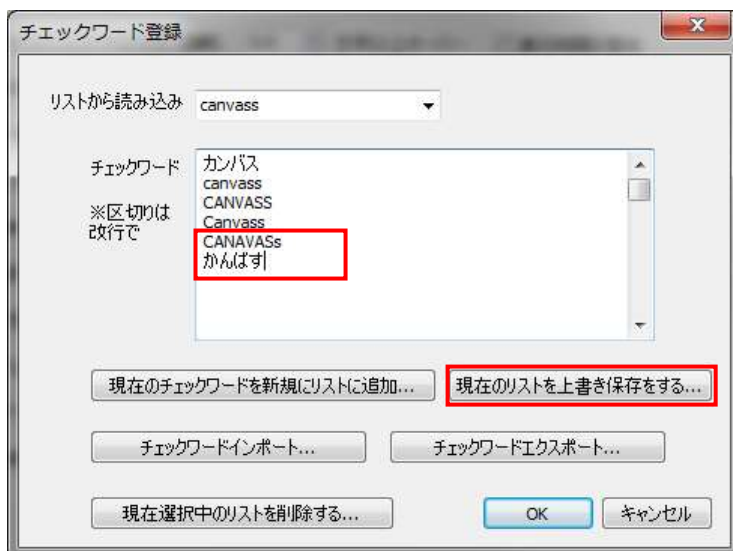
ーチェックワード登録画面に上書きボタンと削除ボタンを追加しました。

■上書き

①上書きしたいリストを選択



②チェックワードに追加したいワードを入力し、[現在のリストを上書き保存をする]をクリック

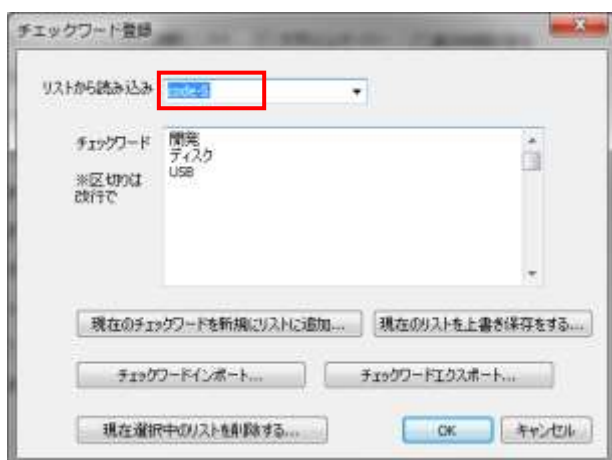


③以下のメッセージが出たら[OK]をクリック

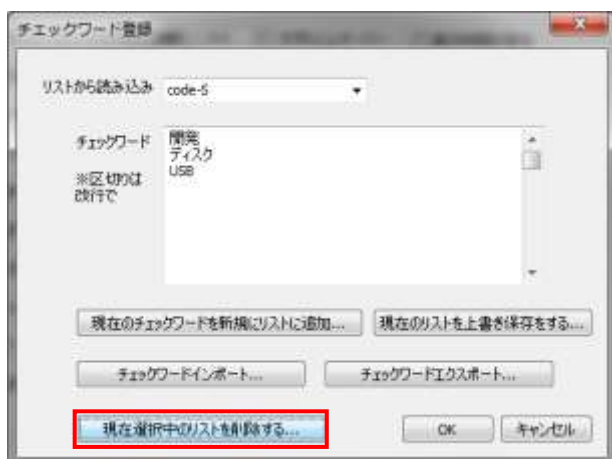


■削除

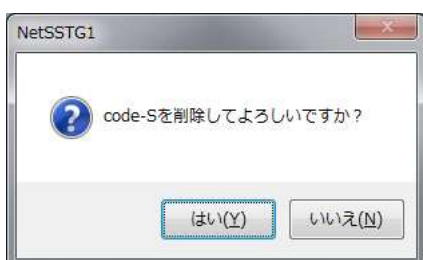
①削除したいリストを選択



②[現在選択中のリストを削除する]をクリック



③以下のメッセージが出たら[はい]をクリック



●ABトラックの入替機能

ーAトラックとBトラックの字幕を入れ替える機能を追加しました。

従来はAトラックの字幕をBトラックに移したい場合、AトラックとBトラックが重なっていると、[Aトラック (Bトラック) にコピー]機能が使えませんでした。

今回のバージョンからは、ABトラックが重なっている場合、入れ替え元の字幕と重なっている全ての字幕を対象にハコを入れ替えられるようになりました。ただし、入れ替える相手の字幕が、入れ替え元の字幕以外の字幕と、入替後に重なってしまう場合は入れ替えることができません。

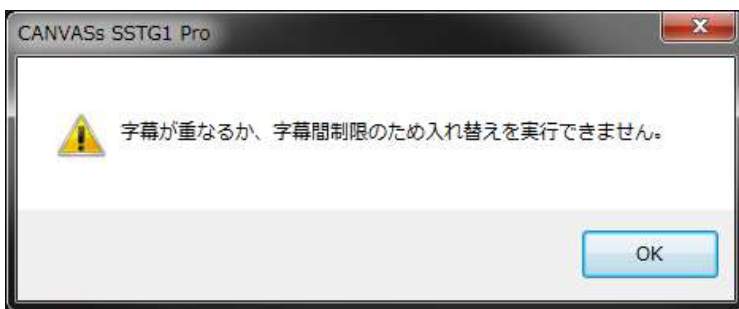
波形データ上のABトラックが重なっているハコを選択し、右クリック→[Aトラック (Bトラック) の字幕と入れ替える]で入れ替えることが可能です。

なお、ABトラックが重なっていない箇所ではこのメニューは選択できません。

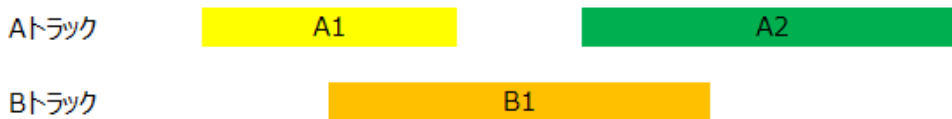
入れ替えの仕様については、次ページの<例>をご覧ください。

※注意

入れ替え後の字幕の位置が、[ユーザー設定]ー[ガイドライン]の「字幕の間隔」の「強制」に設定されたフレームの数値に該当する場合、以下のメッセージが表示され字幕を入れ替えることはできません。



<例1>



● 入替可能

①B1 を選択し、Aトラックと入れ替えすると、B1 がAトラックへ、A1・A2 がBトラックへ入れ替わる。

②A1 と A2 を Alt もしくは Shift で複数選択した状態で、Bトラックと入れ替えすると、A1・A2 がBトラックへ、B1 がAトラックへ入れ替わる。

● 入替不可

A1 を選択し、Bトラックと入れ替えすると、B1 は A2 と重なっているため入れ替え不可となる。

<例2>



● 入替可能

①B1 を選択し、Aトラックと入れ替えすると、B1 がAトラックへ、A1～4 がBトラックへ入れ替わる。

②A1～4 を Alt もしくは Shift で複数選択した状態で、Bトラックと入れ替えすると、A1～4 がBトラックへ、B1 がAトラックへ入れ替わる。

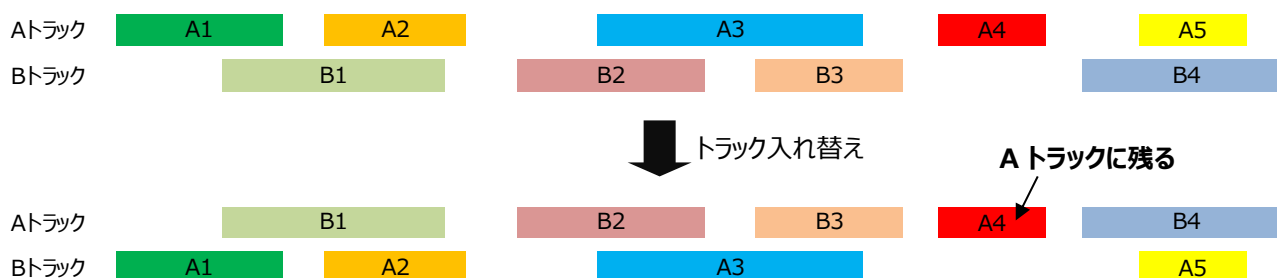
● 入替不可

A1 のみを選択し、Bトラックと入れ替えすると、B1 はA2～4とも重なっているため入れ替え不可となる。同様に、A2、A3、A4 をそれぞれ単体で選択しても入れ替え不可となる。

<注意すべきケース>

複数選択でトラック入れ替えを行う際、その中に入れ替え相手がないハコが含まれていると、そのハコは入れ替えが行われずに元のトラックに残ります。

[例]



上記ケースでA1～A5のハコを複数選択して「Bトラックの字幕と入れ替える」を行うと、**A4のハコ**だけは入れ替え相手のハコがないため、入れ替わらずAトラックに残ります。

●映像とタイムコードの同期、画面調整

－「映像とタイムコードの同期の基本設定」「画面調整」が前回の設定を引き継ぐようになりました。

ファイルを新規作成する際、以下の項目が前回保存したsdbの設定を引き継ぐようになりました。

sdb ファイルを保存せずに閉じた場合は引き継がれないのでご注意ください。

- [映像とタイムコードの同期]－[基本設定]のフレームレート
- [画面調整 (画角)]の[マスターテープ (映像素材)]と[目的モニタ (出力対象)]

2) 仕様変更

●波形の複数選択

－波形上でハコを複数選択した状態で、Alt キーで選択を解除しても選択する字幕を 0 個にすることはできません。

波形上でハコを複数選択した状態で、Alt キーを押しながらハコを選択を解除しても、すべての字幕の選択を解除することはできません。カーソル上にある字幕の選択が解除された場合は、カーソルはその字幕の前の字幕の Out 点に移動します。前の字幕が存在しない場合は、後ろの字幕の In 点に移動します。

●ライセンス

－チケットの残り時間表示を変更しました。

今回のバージョンより[ヘルプ]－[ライセンス]で確認できるチケットの残り時間の表示を「日」から「日、時間、分」の表示に変更しました。

○以前のバージョン



○今回のバージョンより



3) 機能修正

●映像ファイルの再生

－巻き戻し中にハコの選択が解除されない問題を修正しました。

←キーの長押しで巻き戻しをした際、カーソルがハコの外に出ても、次のハコにカーソルが進むまで前のハコが選択されたままの状態になっている問題を修正しました。


●フォーマット設定

－先頭から部分的に完全一致してしまうフォーマット名が存在した場合、フォーマット名が正しく表示されない問題を修正しました。

例えば「canvass」と「canvass_16x9」というフォーマット名が存在していた場合、これまでのバージョ

ンでは、「canvass」というフォーマットで設定をし sdb を保存しても、その sdb を開くとフォーマット名が「canvass_16x9」と表示されていました。なお、フォーマット設定は「canvass」のものが設定されています。本バージョンからは、フォーマット名も正しく表示されるよう修正しております。

－「デフォルトに戻す」ボタンを修正しました。

これまでのバージョンでは、「デフォルトに戻す」ボタン  を押しても縦字幕のカーニング値、組文字設定が戻りませんでした。本バージョンより戻るように修正を行っています。

縦字幕のカーニング値は、「デフォルトに戻す」ボタンを押すと、フォーマット設定の「横書きのカーニング値」になります。

●波形の複数選択

－波形上でハコを複数選択すると、カーソルの位置に関わらずプレビューに表示されている字幕が先頭の字幕になっている問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択した際、カーソルの位置が先頭の字幕でないにも関わらず、プレビューウィンドウに表示されている字幕が先頭の字幕になっている問題が発生しておりました。本バージョンより、カーソルの位置に存在する字幕がプレビューウィンドウに表示されるように修正を行っています。

－波形上でハコを複数選択した後、矢印キーでの連続再生ができない問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択した後に、ハコをまたいで→キーもしくは←キーの長押しによる連続再生を行うと、ハコの手前でカーソルが止まってしまう問題が発生しておりました。本バージョンより連続再生できるように修正を行っています。

－波形上でハコを複数選択し、Aトラック（Bトラック）にコピーを行った後に選択されているハコが正しくない問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択し、[Aトラック（Bトラック）にコピー]を行うと、先頭のハコの選択が解除されている問題を修正しました。

－波形上でハコを複数選択し、属性コピー&ペーストを行った際にペースト後に選択されているハコが正しくない問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択し、[属性を含めてコピー]→[属性を含めてペースト]を行うと、選択されているハコが最後のハコのみになっている問題を修正しました。

●ライセンス

ー深夜0時の認証チェックの挙動を修正しました。

深夜0時に NetSSTG1 を起動した状態にしておくと、ライセンス認証のチェックが自動で行われますが、一部のユーザーにて正しく認証が行えない問題が発生しておりました。本バージョンでは修正を行い、深夜0時になっても正常にご利用いただけるようになりました。


本件は2016年10月28日に弊社カスタマーサポートより該当のユーザー様へお知らせしていた件の修正になります。

<注意！！>

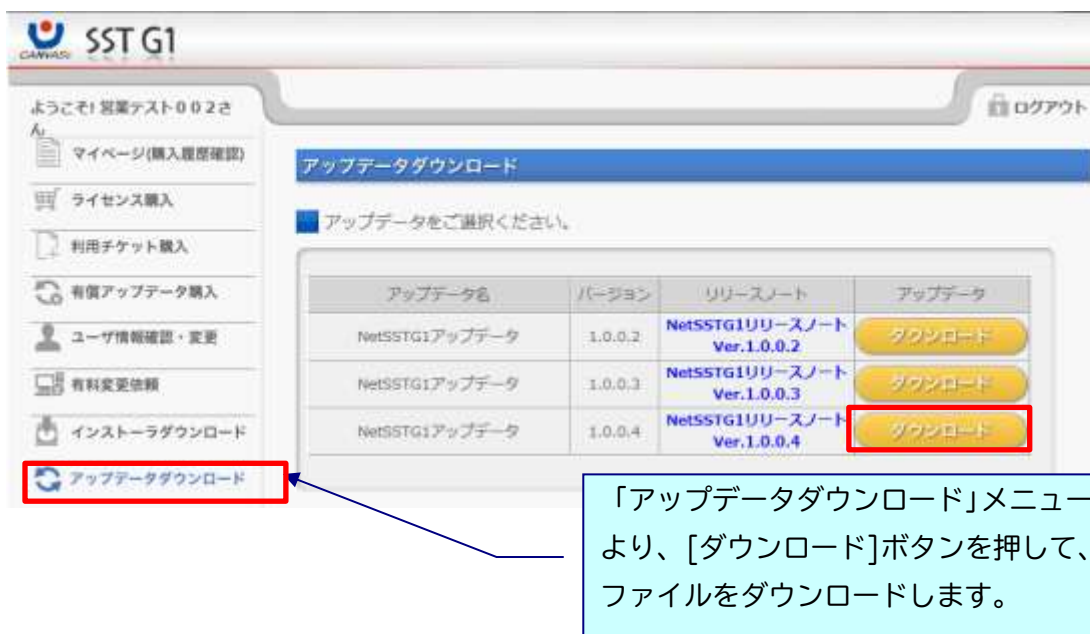
2016年10月28日に弊社カスタマーサポートより該当のユーザー様へお知らせしておりました、本件の現象回避のため、「AuthContentManager (.dll)」を下記のフォルダに配置されている方は、「AuthContentManager (.dll)」を削除してください。

フォルダ：Program Files(x86)\CANVASs NetSSTG1

4) アップデータのダウンロード

 初めて NetSSTG1 をインストールする場合は、インストーラダウンロードより、インストーラをダウンロードして下さい。アップデートは不要です。

ユーザーページよりログインし、「アップデートダウンロード」より、該当のバージョンのアップデートをダウンロードしてください。



アップデート名	バージョン	リリースノート	アップデート
NetSSTG1アップデート	1.0.0.2	NetSSTG1リリースノート Ver.1.0.0.2	ダウンロード
NetSSTG1アップデート	1.0.0.3	NetSSTG1リリースノート Ver.1.0.0.3	ダウンロード
NetSSTG1アップデート	1.0.0.4	NetSSTG1リリースノート Ver.1.0.0.4	ダウンロード

「アップデートダウンロード」メニューより、[ダウンロード]ボタンを押して、ファイルをダウンロードします。

アップデート方法は、ダウンロードファイルの中に入っている「NetSSTG1_アップデートガイド.pdf」をお読みください。

<バージョンアップ後に不具合があった場合>

万一、バージョンアップによる不具合が確認された場合は、いったん前のバージョンにダウングレードして下さい。

前のバージョンにダウングレードするためには、一度 NetSSTG1 をアンインストールしていただく必要があります。[コントロールパネル]-[プログラム（と機能）]から「CANVASs Net SSTG1」をアンインストールしてください。

その後、ユーザーページの[インストーラダウンロード]より Ver2.1.10 のインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。その際、認証ドライバ・USB ドングルドライバの再インストールは不要ですので、インストールガイドの「2. NetSSTG1 のインストール」のみを行ってください。

また、お手数ではございますが不具合について弊社カスタマーサポート sales@canvass.co.jp までご一報くださいますようお願いいたします。